

令和6年度分野横断権利情報検索システムに関する調査研究

報告書

令和 7 年 3 月

ウルシステムズ株式会社

目次

第1章 業務概要	1
1. 業務の背景と目的.....	1
2. 業務期間	1
3. 業務内容	1
第2章 システム企画	3
1. 令和5年度事業の報告概要	3
2. システム構築における課題と対応方針	3
第3章 要件定義の実施	4
1. システムの概要	4
2. 画面遷移	4
3. 画面イメージ	5
4. 要求の統括.....	8
第4章 関係者協議会の開催	11
1. 第1回関係者協議会の開催	11
2. 第2回関係者協議会の開催	12
第5章 関係団体説明会の開催	13
1. 第1回関係団体等説明会.....	13
2. 第2回関係団体等説明会	13
第6章 おわりに	16

第1章 業務概要

1. 業務の背景と目的

文化芸術におけるDXの推進を背景とし、著作物の利用円滑化と権利者への適切な対価還元機会の増加を図るため、簡素で一元的な権利処理方策の実現が求められている。

その一環として、権利者から利用許諾を得るための探索作業の効率化や、令和5年に成立した著作権法の一部を改正する法律により創設された未管理著作物裁判制度のプロセス短縮等のため、分野を横断して著作物の権利関連情報を検索できる「分野横断権利情報検索システム」（以下、「本システム」）の構築が計画されており、令和8年に運用開始を行うスケジュールで検討してきた。

本事業では、上述の未管理著作物裁判制度の内容も踏まえつつ、著作物の利用の円滑化と権利者への適切な対価還元機会の増加を図る簡素で一元的な権利処理方策の実現に資する本システムに係る調査研究を実施し、システム企画及びその構築に向けて要件定義を行った。

2. 業務期間

業務は令和6年7月4日から令和7年3月25日まで実施した。

3. 業務内容

(1) 本事業の実施内容

本事業においては、昨年度実施した文化庁委託事業「令和5年度後期分野横断権利情報検索システムに関する調査研究」（以下、「令和5年度事業」）の調査結果を踏まえつつ、想定利用者ニーズや現行の権利者探索の状況及びシステム構築がなされた後に考えられ得る変化とシステム構築に係るコストのバランスを考慮に入れ、システムの構築に向け、システム企画及び要件定義の検討を行った。これに伴い(2)～(5)の業務を実施し、最終的に本報告書にまとめた。

(2) システム企画

令和5年度事業の調査結果に基づき、想定利用者ニーズや現在の権利者探索の状況及びシステム構築がなされた後に考えられ得る変化と、システム構築に係るコストのバランスを考慮に入れシステム企画を実施した。

(3) 要件定義の実施

システム企画や関係者協議会の内容を踏まえて、「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」を準拠して実施し、情報セキュリティ要件については「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」の基準を参照し要件定義を適宜検討し進めた。作成した画面イメージについては、第2回関係者協議会で委員の方から意見をいただき検討を行った。

(4) 関係者協議会の開催

システム企画・要件定義の検討などに当たり、意見集約・情報収集を行うため、関係者協議会を設置・運営した。会議は全2回実施した。

図表 1 関係者協議会委員名簿(敬称略)

KTS 法律事務所 弁護士	末吉 瓦
一般社団法人日本レコード協会顧問	畠 陽一郎
一般社団法人音楽情報プラットフォーム協議会代表理事	
公益社団法人著作権情報センター附属著作権研究所専任研究員	横山 真司
一般社団法人日本出版インフラセンター出版情報登録センター 知的財産部会部会長	洪 性鉄
一般社団法人日本美術著作権連合 副理事長	藤崎 知子
一般社団法人日本写真著作権協会常務理事	棚井 文雄
公益社団法人日本文藝家協会 事務局長	平井 彰司
株式会社ドワンゴ シニアアドバイザー	甲斐 顕一
日本放送協会 コンテンツ戦略局 企画管理センター 特別主幹	広石 美帆子
一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 理事・事務局長	野方 英樹
骨董通り法律事務所 弁護士	福井 健策

図表 2 事務局名簿(敬称略)

文化庁 著作権課 著作物推進室	渡邊 (～9月)、八田 (10月～)、内村、 五十嵐
ウルシステムズ株式会社	柳田、廣瀬、安陪

(5) 関係団体等説明会の開催

本システムの構築に際し、著作権等管理事業者をはじめとする関係団体等へ、本システムに掲載する団体情報の提供等の依頼が来年度発生するため、事業背景や目的・システム概要についての説明会を全2回実施した。説明会後、システム連携に関するアンケートを実施した。

第2章 システム企画

本章では令和5年度事業の調査結果に基づき、想定利用者ニーズや現行の権利者探索の状況及びシステム構築がなされた後に考えられ得る変化と、システム構築に係るコストのバランスを考慮したシステム企画について整理をした。

1. 令和5年度事業の報告概要

本事業は令和5年度事業の内容を踏まえたものであるため、まずその内容を概観する。

図表 3 令和5年度事業報告概要

No.	調査研究内容	実施内容	検討結果
令和5年度後期分野横断権利情報検索システムに関する調査研究 報告概要			
1	著作権等情報保有団体基礎調査	<ul style="list-style-type: none">著作権等管理事業者、著作者団体等へ基礎的調査を実施分野ごとに情報が集約されたデータベース等の管理団体へのヒアリング実施	<ul style="list-style-type: none">著作者名のみ保有する団体から情報豊富な団体まで、保有情報に差あり各団体の課題として、一般利用者の著作権への理解不足、物故者情報への対応、資金・人的資源両面での情報管理対応等が挙げられた
2	利用者についての調査	<ul style="list-style-type: none">裁判制度の利用実績分析権利者検索業務を行っている事業者にヒアリング	<ul style="list-style-type: none">裁定申請著作物等の54%(926点)が題号あり、69%(1,178点)が著作者名等情報あり(令和4年度)権利者検索を行っている事業者においては、検索方法が確立されている一方、分野横断権利情報検索システムを一つのツールとして期待
3	システム連携方式の検討 及び 概算費用算出	<ul style="list-style-type: none">No.1,2の調査結果を踏まえ、各分野のデータベースとの有効な連携方式を検討No.1及び上記の連携方式に基づき、概算費用を算出	<ul style="list-style-type: none">データ連携の場合の連携方式はメタデータ蓄積型(各団体の権利情報のメタデータを連携し、自システム内に格納)が実用性を考えると望ましい概算見積 構築費：2億5,000万～4億8,000万円 運用費：3,000万～1億3,000万円

2. システム構築における課題と対応方針

令和5年度事業から、本システム構築における課題を抽出し、それらについての対応方針を検討した。

図表 4 課題と対応方針

No.	課題	課題の概要	対応方針
1	メタデータによる分野横断検索に対するニーズの捕捉がなお不十分で、ニーズの更なる把握が今後の課題	<ul style="list-style-type: none">権利者検索を行っている事業者においては、既に検索方法が確立されていた。(検索手段が増えることには肯定的評価。)本システムへのニーズ把握に資すると考えられる既存のデータベース等の検索件数等の調査に、有意な回答数が集まらず、ニーズを数値として算出することが困難で、ニーズの更なる把握が今後の課題として考えられる。	<ul style="list-style-type: none">メタデータによる分野横断検索についてのニーズの捕捉がなお不十分であり、また、個人クリエイター等の権利情報の登録環境を整備することの需要が確認できたことから、令和7年度については、「分野横断権利情報検索システム」をスマートスタートで構築し、個人クリエイター等向けの権利情報の登録環境整備に比重をおく方針とする。
2	システム構築における各著作権団体の負担	<ul style="list-style-type: none">著作権関連情報を保有する各著作権団体とデータ連携を行うにあたっては、相手側にも負担が発生する。これまでの調査から連携に関して前向きな反応はある一方で、システム対応に関する支援(経済的なもの、それ以外のもの)を求める声が出ている。	<ul style="list-style-type: none">まずはメタデータによる分野横断検索ではなく、高機能なリンク集とすることで、著作権関連情報を保有する各団体側には負担がかからない方針とする。
3	ニーズに対する費用対効果の算出が困難	<ul style="list-style-type: none">現段階での概算見積結果からは、システム構築における初期費用、ランニング費用ともに高額となっており、No.1における課題と相まって、ニーズに対する費用対効果を算出することが現時点では困難と考えられる。	<ul style="list-style-type: none">まずはシステム構築及び運用費用を抑制するため、スマートスタートで構築し、ログやアンケートで継続的にデータを収集し、それを基にシステム改善・拡充につなげる方針とする。

第3章 要件定義の実施

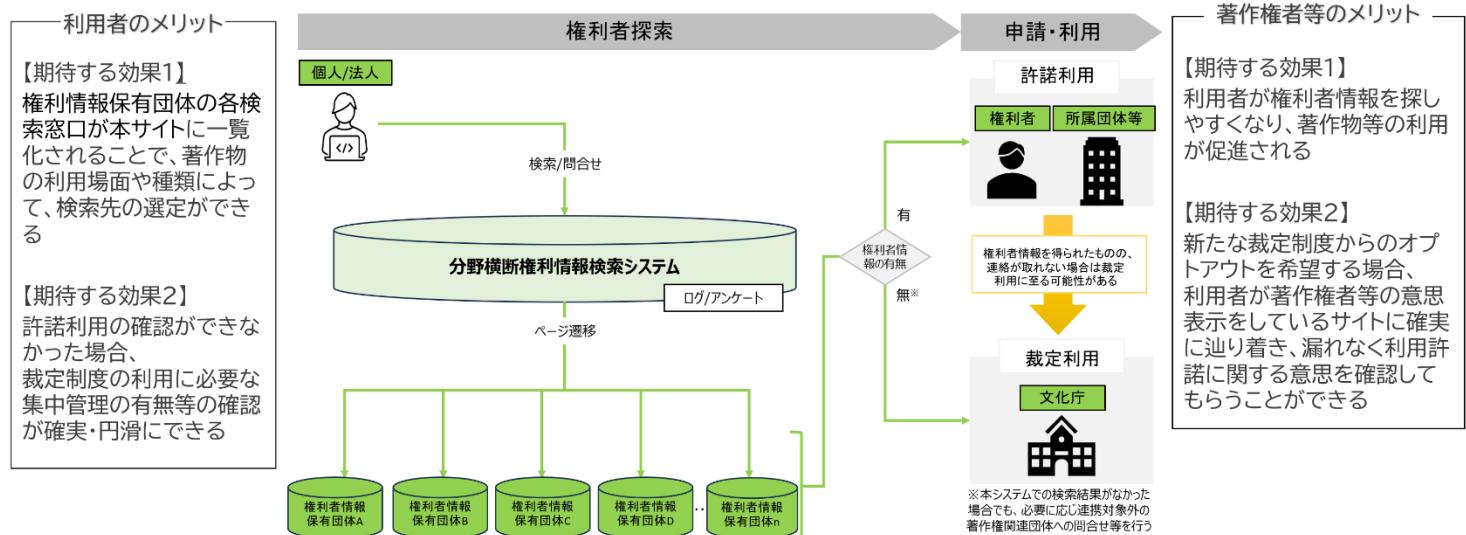
1. システムの概要

本システムの概要について、関係者協議会での検討を経て、以下のように取りまとめた。

図表 5 分野横断権利情報検索システムの概要

目的

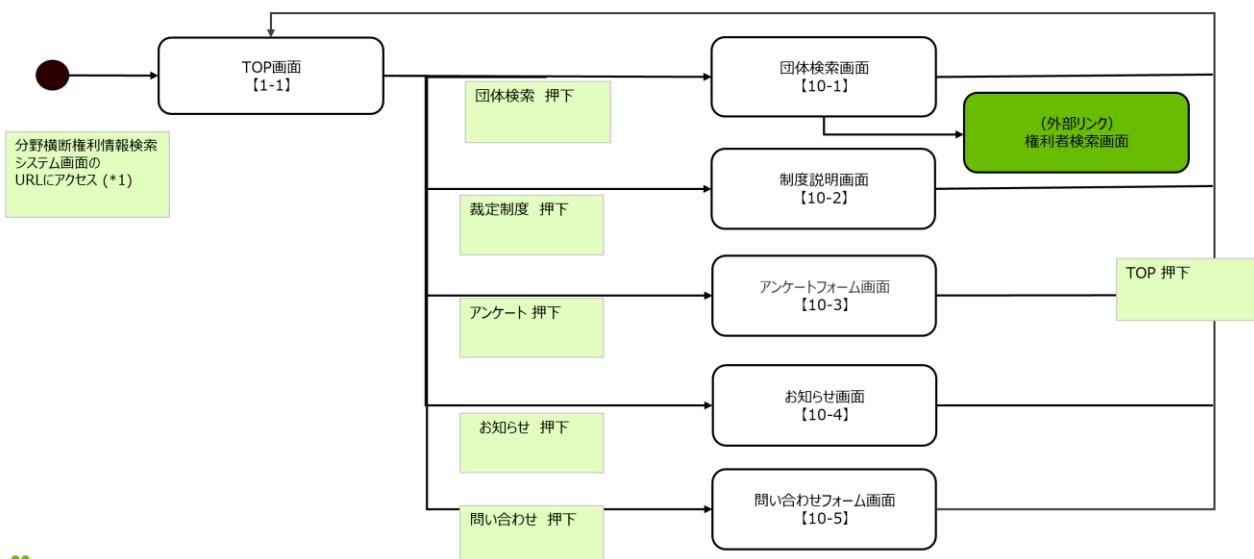
- 利用者が権利者から著作物等の利用許諾を得るための検索作業の効率化
- 利用者にとっては、権利者の意思確認等のための検索作業の効率化・適切な実行 ⇒ 裁制度の活用へ
- クリエイター等にとっては、未管理著作物裁制度からのオプトアウト(その制度によって自らの作品が使われないようにすること)の意思表示を確実に行う



2. 画面遷移

本システムにおける画面遷移を以下に示す。

図表 6 画面遷移図

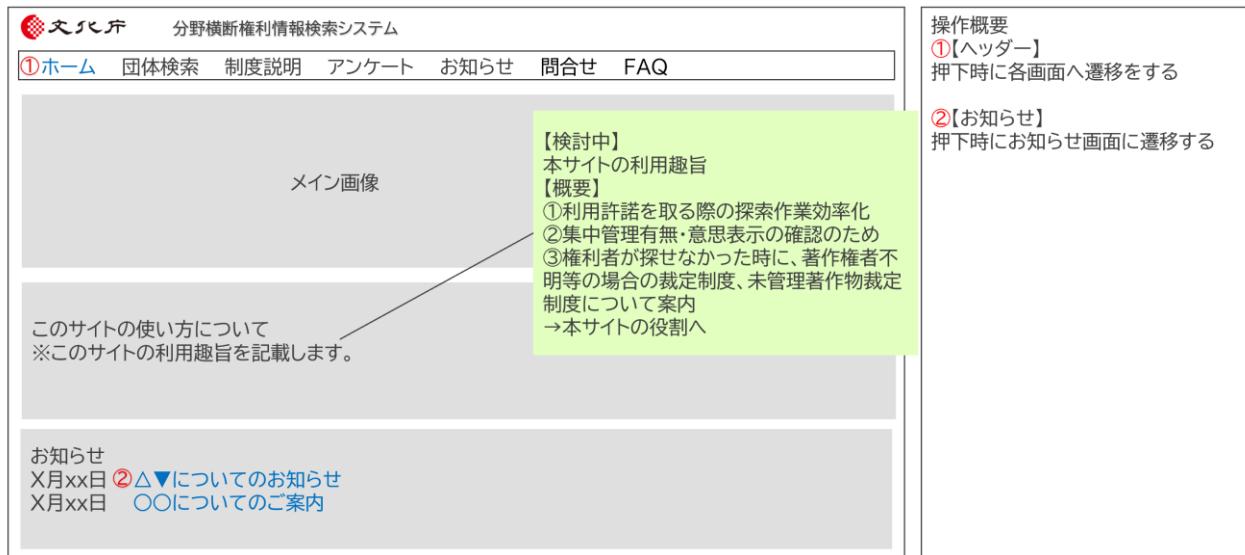


3. 画面イメージ

画面遷移で示した画面のイメージは以下の通りとなっている。なお、デザインはあくまでも本事業終了時点のデザインイメージであり、今後のシステム構築の段階で可変であることは留意されたい。

(1) TOP 画面

図表 7 TOP 画面



(2) 団体検索画面

図表 8 団体検索画面



(3) 制度説明画面

図表 9 制度説明画面

文部省 分野横断権利情報検索システム

ホーム 団体検索 制度説明 アンケート お知らせ 問合せ FAQ

目次

1.著作権の処理について
2.権利者探索について
3.未管理著作物裁判制度について

現在の検討内容として記載。内容の詳細は構築時に検討が必要。

1.著作権の処理について
【概要】
著作物等の利用には権利者の許諾が必要

2.権利者探索について
【概要】
権利者の情報探索について→団検検索へ

3.未管理著作物裁判制度について
(※現行裁判制度についても記載)
【概要】
制度概要を記載

目次1
著作権の処理について

目次2
権利者探索について

目次3
未管理著作物裁判制度について

(4) アンケート画面

図表 10 アンケート画面

文部省 分野横断権利情報検索システム

ホーム 団体検索 制度説明 アンケート お知らせ 問合せ FAQ

アンケートの趣旨

① →回答フォームはこちら

操作概要

①【回答フォームへのリンク】
アンケート回答リンク先に遷移する

(5) お知らせ画面

図表 11 お知らせ画面

操作概要
①【お知らせ一覧】
お知らせ一覧が表示される

お知らせの例としては以下のようないものを想定

例)
・システムメンテナンスによるサービス停止案内
・●●団体の追加掲載のお知らせ

日付	件名
X月X日	△▼についてのお知らせ
X月X日	○○についてのお知らせ
X月X日	□◆についてのお知らせ

(6) 問合せ画面

図表 12 問合せ画面

操作概要
①【よくある質問はこちら】
FAQのファイルにリンクする

②【返信種別】
質問か意見かその他回答者に選んでもらう

③【お名前】
お名前情報を入力する

④【連絡先メールアドレス】
連絡先メールアドレスを入力する

⑤【問合せ内容】
問合せ内容を入力する

⑥【送信】
ボタン押下時に、設定した「問合せ送信先アドレス」に通知とフォーム入力内容をCSV等で送付

①よくある質問はこちら	②御質問 <input checked="" type="radio"/> 御意見 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/>
③お名前	<input type="text"/>
④連絡先 メールアドレス	<input type="text"/>
※問合せ内容は個人情報を特定できない形に加工し関係団体に共有させていただく場合がございます	
⑤問合せ内容	<input type="text"/>
⑥ [送信]	

4. 要求の統括

(1) 業務要件

業務要件の定義を行った。主な内容は以下の通りである。

図表 13 業務要件

要求事項	内容																																																																																							
業務要件	<p>業務の範囲</p> <p>本システムは、著作物等の利用許諾のための権利者探索作業において、利用場面や著作物等のカテゴリーを指定し関係団体やデータベースを特定し、検索するシステムである。本システムに関する業務の範囲については、以下の表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">分野横断権利情報検索システム業務一覧（利用者）</th> </tr> <tr> <th>業務 ID</th> <th>業務名称</th> <th>業務概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1[□]</td> <td>団体検索[□]</td> <td>著作権等情報を保有する団体等を検索する。検索条件として利用場面、カテゴリー/サブカテゴリーで絞り込みを行い、著作権等情報保有団体等が表形式で画面表示される。[□]</td> </tr> <tr> <td>2[□]</td> <td>問合せ[□]</td> <td>システムの問合せを受付ける[□]</td> </tr> <tr> <td>3[□]</td> <td>インフォメーション確認[□]</td> <td>インフォメーションの確認をする。[□]</td> </tr> <tr> <td>4[□]</td> <td>アンケート回答[□]</td> <td>文化庁から利用者に向けて、アンケートを実施する場合にリンクされ、アンケートを行う[□]</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">分野横断権利情報検索システム業務一覧（管理者）</th> </tr> <tr> <th>業務 ID</th> <th>業務名称</th> <th>業務概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5[□]</td> <td>マスタメンテナンス[□]</td> <td>システム内のマスタ情報の編集をする[□]</td> </tr> <tr> <td>6[□]</td> <td>利用者分析[□]</td> <td>利用者が権利者情報等保有団体サイトへリンクから遷移した際にどのリンク先に遷移したかわかる情報を収集する。[□]</td> </tr> <tr> <td>7[□]</td> <td>アンケート分析[□]</td> <td>アンケート分析を行う[□]</td> </tr> <tr> <td>8[□]</td> <td>インフォメーション更新[□]</td> <td>インフォメーションの内容を更新する。[□]</td> </tr> <tr> <td>9[□]</td> <td>アンケート更新[□]</td> <td>アンケートの内容について更新を実施する。[□]</td> </tr> </tbody> </table> <p>入出力情報及び取扱量</p> <p>サービス運用開始後 1 年間程度の入出力情報及び取扱量に関する現段階における見通しを下表に示す。なお、本システム並びに関連するシステムの利用範囲の拡大に伴い、データの範囲と種類、容量が拡大する可能性もあることをあらかじめ留意すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">入出力情報一覧</th> </tr> <tr> <th>業務処理[□]</th> <th>入出力情報名[□]</th> <th>入出力情報概要[□]</th> <th>入出力の区分[□]</th> <th>主な入出力情報項目[□]</th> <th>取扱量[□]</th> <th>用途[□]</th> <th>取得元 / 提供元[□]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンケート回答[□]</td> <td>アンケートデータ[□]</td> <td>アンケート回答データ[□]</td> <td>入力[□]</td> <td>アンケート項目[□]</td> <td>年間約 1 万件[□]</td> <td>利用者分析[□]</td> <td>利用者[□]</td> </tr> <tr> <td>利用者分析[□]</td> <td>団体遷移操作ログ[□]</td> <td>各団体への参考情報[□]</td> <td>出力[□]</td> <td>操作年月日、団体番号、件数[□]</td> <td>年間約 7.5 万件数[□]</td> <td>利用者分析[□]</td> <td>本システム[□]</td> </tr> <tr> <td>利用者分析[□]</td> <td>団体検索操作ログ[□]</td> <td>利用者の団体検索した検索条件[□]</td> <td>出力[□]</td> <td>操作年月日、利用場面、著作物種類[□]</td> <td>年間約 5 万件数[□]</td> <td>利用者分析[□]</td> <td>本システム[□]</td> </tr> <tr> <td>問合せ[□]</td> <td>問合せ情報[□]</td> <td>問合せフォームからの問合せ情報をもつ</td> <td>入力/出力[□]</td> <td>差出人、連絡先、問合せ内容[□]</td> <td>—[□]</td> <td>問合せ対応[□]</td> <td>利用者[□]</td> </tr> </tbody> </table>	分野横断権利情報検索システム業務一覧（利用者）			業務 ID	業務名称	業務概要	1 [□]	団体検索 [□]	著作権等情報を保有する団体等を検索する。検索条件として利用場面、カテゴリー/サブカテゴリーで絞り込みを行い、著作権等情報保有団体等が表形式で画面表示される。 [□]	2 [□]	問合せ [□]	システムの問合せを受付ける [□]	3 [□]	インフォメーション確認 [□]	インフォメーションの確認をする。 [□]	4 [□]	アンケート回答 [□]	文化庁から利用者に向けて、アンケートを実施する場合にリンクされ、アンケートを行う [□]	分野横断権利情報検索システム業務一覧（管理者）			業務 ID	業務名称	業務概要	5 [□]	マスタメンテナンス [□]	システム内のマスタ情報の編集をする [□]	6 [□]	利用者分析 [□]	利用者が権利者情報等保有団体サイトへリンクから遷移した際にどのリンク先に遷移したかわかる情報を収集する。 [□]	7 [□]	アンケート分析 [□]	アンケート分析を行う [□]	8 [□]	インフォメーション更新 [□]	インフォメーションの内容を更新する。 [□]	9 [□]	アンケート更新 [□]	アンケートの内容について更新を実施する。 [□]	入出力情報一覧								業務処理 [□]	入出力情報名 [□]	入出力情報概要 [□]	入出力の区分 [□]	主な入出力情報項目 [□]	取扱量 [□]	用途 [□]	取得元 / 提供元 [□]	アンケート回答 [□]	アンケートデータ [□]	アンケート回答データ [□]	入力 [□]	アンケート項目 [□]	年間約 1 万件 [□]	利用者分析 [□]	利用者 [□]	利用者分析 [□]	団体遷移操作ログ [□]	各団体への参考情報 [□]	出力 [□]	操作年月日、団体番号、件数 [□]	年間約 7.5 万件数 [□]	利用者分析 [□]	本システム [□]	利用者分析 [□]	団体検索操作ログ [□]	利用者の団体検索した検索条件 [□]	出力 [□]	操作年月日、利用場面、著作物種類 [□]	年間約 5 万件数 [□]	利用者分析 [□]	本システム [□]	問合せ [□]	問合せ情報 [□]	問合せフォームからの問合せ情報をもつ	入力/出力 [□]	差出人、連絡先、問合せ内容 [□]	— [□]	問合せ対応 [□]	利用者 [□]
分野横断権利情報検索システム業務一覧（利用者）																																																																																								
業務 ID	業務名称	業務概要																																																																																						
1 [□]	団体検索 [□]	著作権等情報を保有する団体等を検索する。検索条件として利用場面、カテゴリー/サブカテゴリーで絞り込みを行い、著作権等情報保有団体等が表形式で画面表示される。 [□]																																																																																						
2 [□]	問合せ [□]	システムの問合せを受付ける [□]																																																																																						
3 [□]	インフォメーション確認 [□]	インフォメーションの確認をする。 [□]																																																																																						
4 [□]	アンケート回答 [□]	文化庁から利用者に向けて、アンケートを実施する場合にリンクされ、アンケートを行う [□]																																																																																						
分野横断権利情報検索システム業務一覧（管理者）																																																																																								
業務 ID	業務名称	業務概要																																																																																						
5 [□]	マスタメンテナンス [□]	システム内のマスタ情報の編集をする [□]																																																																																						
6 [□]	利用者分析 [□]	利用者が権利者情報等保有団体サイトへリンクから遷移した際にどのリンク先に遷移したかわかる情報を収集する。 [□]																																																																																						
7 [□]	アンケート分析 [□]	アンケート分析を行う [□]																																																																																						
8 [□]	インフォメーション更新 [□]	インフォメーションの内容を更新する。 [□]																																																																																						
9 [□]	アンケート更新 [□]	アンケートの内容について更新を実施する。 [□]																																																																																						
入出力情報一覧																																																																																								
業務処理 [□]	入出力情報名 [□]	入出力情報概要 [□]	入出力の区分 [□]	主な入出力情報項目 [□]	取扱量 [□]	用途 [□]	取得元 / 提供元 [□]																																																																																	
アンケート回答 [□]	アンケートデータ [□]	アンケート回答データ [□]	入力 [□]	アンケート項目 [□]	年間約 1 万件 [□]	利用者分析 [□]	利用者 [□]																																																																																	
利用者分析 [□]	団体遷移操作ログ [□]	各団体への参考情報 [□]	出力 [□]	操作年月日、団体番号、件数 [□]	年間約 7.5 万件数 [□]	利用者分析 [□]	本システム [□]																																																																																	
利用者分析 [□]	団体検索操作ログ [□]	利用者の団体検索した検索条件 [□]	出力 [□]	操作年月日、利用場面、著作物種類 [□]	年間約 5 万件数 [□]	利用者分析 [□]	本システム [□]																																																																																	
問合せ [□]	問合せ情報 [□]	問合せフォームからの問合せ情報をもつ	入力/出力 [□]	差出人、連絡先、問合せ内容 [□]	— [□]	問合せ対応 [□]	利用者 [□]																																																																																	

時間・時期	<p>本サービスに係る業務実施時期・期間は、原則として開庁日（土日及び祝日、年末年始を除く）とする。本サービスに係る業務における繁忙期は想定されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス提供時間 : 24時間 365日 ヘルプデスク業務 : 下表のとおり <table border="1" data-bbox="687 1140 1081 1170" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="4">ヘルプデスク業務の問合せ対応時間</th> </tr> <tr> <th>項目[□]</th> <th>問合せ方法[□]</th> <th>受付時間[□]</th> <th>回答時間[□]</th> </tr> <tr> <td>1[□]</td> <td>Web フォーム[□]</td> <td>24時間[□]</td> <td>平日 9:30～18:15[□]</td> </tr> </table>	ヘルプデスク業務の問合せ対応時間				項目 [□]	問合せ方法 [□]	受付時間 [□]	回答時間 [□]	1 [□]	Web フォーム [□]	24時間 [□]	平日 9:30～18:15 [□]
ヘルプデスク業務の問合せ対応時間													
項目 [□]	問合せ方法 [□]	受付時間 [□]	回答時間 [□]										
1 [□]	Web フォーム [□]	24時間 [□]	平日 9:30～18:15 [□]										

(2) 機能要件

機能要件定義を実施した。主な内容は以下の通り。

図表 14 機能要件

機能分類	機能名	詳細
団体検索機能	表示	団体マスタ登録の内容を表形式で表示
	絞り込み	著作物等のカテゴリー・サブカテゴリー・利用場面等といったキーワードで団体情報の絞り込みができる。 絞り込み時にはその操作ログを取得する
	団体サイトリンク	URL リンクを表示し団体サイトへリンクさせる
ログ取集	操作ログ収集	団体検索実施時の操作ログを取得
インストラクション	表示	著作物等のカテゴリー・サブカテゴリー・利用場面等に応じたインストラクション表示機能

問合せ機能	問合せ	利用者が問合せ入力後に、運用保守事業者にメールで通知がある
	FAQ	FAQ 表 PDF データ等を参照する
アンケート機能	アンケート	Microsoft forms 等に遷移させる機能。アンケート自体は Microsoft forms で実施することを想定。
	回答へのアラート	利用者にアンケート回答を促すアラート機能
お知らせ表示機能	表示	TOP 画面でお知らせを表示する

(3) 非機能要件

非機能要件定義を実施した。主な内容は以下の通りである

図表 15 非機能要件

要求事項		内容								
非機能要件	構築環境について	本番環境と検証環境を準備する。検証環境は検証用途に最低限必要な要素を踏まえ、縮退した構成とし、性能、信頼性については本番環境と同等にする必要はない。								
	対象モバイル/対象ブラウザについて	<p>本システムの運用開始時点で動作保証の対象とする PC・スマートフォン・OS・ブラウザの考え方について、以下に示す。</p> <p>ア 本システムの運用開始時点で動作保証の対象とする PC・スマートフォン・OS の機種やバージョンを下表に示す。 ↗</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>端末</th> <th>OS</th> <th>バージョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>PC</td> <td>Windows</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 本システムの運用開始時点で動作保証の対象とするブラウザは以下とする。 ↗</p> <ul style="list-style-type: none"> PC (Mac OS/Windows) の場合 : Microsoft Edge/Google Chrome の最新バージョン ↗ Android と IOS の場合 : Google Chrome の最新バージョン ↗ 	項目	端末	OS	バージョン	1	PC	Windows	11
項目	端末	OS	バージョン							
1	PC	Windows	11							

第4章 関係者協議会の開催

1. 第1回関係者協議会の開催

(1) 関係者協議会の構成と論点

第1回関係者協議会は8月28日（水）13：00～15：00にオンラインとオフラインのハイブリットの会議形式で実施した。事業概要と第2章のシステム企画の説明を行い、これらを論点として意見交換を実施した。

図表 16 第1回関係者協議会の議事次第

- | |
|--|
| 1.開会の挨拶 |
| 2.参加者紹介 |
| 3.「令和6年度分野横断権利情報検索システム」に関する事業説明(前半) |
| 4.「令和6年度個人クリエイター等の権利情報を登録する仕組みに関する調査研究」の概要説明 |
| 5.「令和6年度分野横断権利情報検索システム」に関する事業説明」(後半) |
| 6.質疑、意見交換 |
| 7.今後の流れについて |
| 8.その他 |

(2) 関係者協議会の主な意見

分野横断権利情報検索システムの企画について、令和5年度の調査結果からの課題とそれについての対応方針について議論し、構築当初のシステム企画の内容について確認した。また、各分野の権利情報のデータベース化・集約化についての引き続きの検討の必要性や、個人クリエイターの権利情報の集約化事業と本事業の関係性についての確認、英語等システムの多言語化についても委員から意見が述べられた。

2. 第2回関係者協議会の開催

(1) 関係者協議会の構成と論点

第2回関係者協議会は12月16日（月）15：00～16：30にオンラインとオフラインのハイブリットの会議形式で実施した。要件定義からの画面イメージや第1回関係団体等説明会におけるアンケート結果の説明を行い、これらを論点として意見交換を実施した。

図表 17 第2回関係者協議会の議事次第

- | |
|------------------|
| 1. 開会の挨拶 |
| 2. 関係団体への説明結果の共有 |
| 3. 要件定義の内容 |
| 4. 質疑、意見交換 |
| 5. 文化庁より |
| 6. 閉会の挨拶 |

(2) 関係者協議会の主な意見

分野横断権利情報検索システムのシステム画面イメージから実際の利用を想定した際の質問・意見が多くみられた。本システムでの利用場面や分野による絞り込みについて、利用者目線での検討事項や、権利情報データベースを保有していない団体との連携等について意見交換を実施した。また、第1回関係団体等説明会のアンケート結果について共有し、著作権等管理事業者のうちアンケート未回答の団体への対応や、それ以外の関係団体への説明の継続を確認した。

第5章 関係団体説明会の開催

1. 第1回関係団体等説明会

(1) 第1回関係団体等説明会の趣旨と論点

第1回関係団体等説明会は10月30日(水)、10月31日(木)の2日間、オンラインの会議形式で実施した。本システムの概要や画面イメージ、各団体に協力いただきたい点の説明を行うとともに、未管理著作物裁判制度の概要説明を行い、その後アンケートを実施した。

図表 18 第1回関係団体等説明会の議事次第

1. 簡素で一元的な権利処理方策と分野横断権利情報検索システムについて
2. 未管理著作物裁判制度について
3. 分野横断権利情報検索システムに関し、団体の皆様へのお願い事項
4. 質疑応答

(2) アンケート結果

説明会後アンケートを実施した。アンケート目的は以下の通り。

- ①：システム利用者数の概算規模算出のための各団体への現状確認
- ②：著作権等管理事業者以外の本システムへの登録意思の確認

目的②の結果について、分野横断権利情報検索システムへ登録したくない、わからないという団体については「権利者情報のデータベースを持っていない」、「集中管理団体でないため」という回答であった。著作権等管理事業者のみが登録対象だと誤解されている可能性があるため、次回説明会でも改めて説明する方針とした。

2. 第2回関係団体等説明会

(1) 第2回関係団体等説明会の趣旨と論点

第2回関係団体等説明会は2025年2月20日(木)にオンラインの会議形式で実施した。第2回関係者協議会からの画面イメージの変更点や第1回の関係団体等説明会後のアンケート結果より、未管理著作物裁判制度及び本システムへの理解が深められるよう、それらの説明を行い、その後アンケートを実施した。

図表 19 第2回関係団体等説明会の議事次第

1. 未管理著作物裁判制度について
2. 簡素で一元的な権利処理方策と分野横断権利情報検索システムについて
3. 分野横断権利情報検索システムに関し、団体の皆様へのお願い事項
4. 質疑応答

(2) アンケート結果

説明会後、以下2点の収集目的でアンケートを実施した。

- ①：分野横断権利情報検索システムからの権利情報等の参照先としての登録意思の確認
- ②：関係団体等の権利情報保有等状況確認

アンケート結果は以下の通り。

図表 20 目的①のアンケート結果

目的1 分野横断権利情報検索システムからの権利者情報等の参照先としての登録意思の確認
Q1分野横断権利情報検索システムへ貴団体管理のデータベースや貴団体ウェブサイトの掲載を希望しますか。
Q2上記質問で掲載を希望しない、未定の場合理由を回答してください

図1 Q1分野横断権利情報検索システムへ貴団体管理のデータベースや貴団体ウェブサイトの掲載を希望しますか。

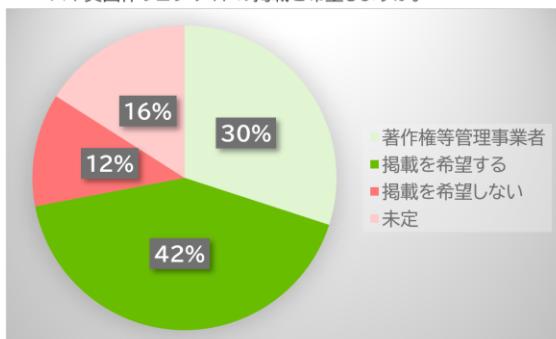


表1 Q2について掲載を希望しない主な理由

項目番号	回答	合計
1	管理しているデータベースがない	2
2	著作権管理団体ではなく、さらに資料現物を扱うのみなので会員が存在しない。	1
3	著作権管理団体ではないため問い合わせに対して回答できない。	2
4	基本的に会自身に会員の作品に関する権利及び情報収集が無いため。	1
5	(掲載そのものが)不要と考える	1

調査結果

合計50の団体より回答を得ることができた。本システムの掲載対象になる、著作権管理事業者と掲載希望の団体は36団体となった。未定と回答した団体については、これから団体の中で議論を進めるという回答が主であった。掲載を希望しない団体については表1の通りで、管理しているデータがないというものや、利用者からの権利者探索に関する問合せを受け付ける用意がないことが主な理由として挙げられた。

図表 21 目的②のアンケート結果

目的2 関係団体等の現状確認

Q3著作者(権利者)情報・著作物等情報を 保有していますか？ ※著作者(権利者)情報とは、会員リストなどの名前(変名含む)だけの情報も含みます。

Q4 保有している場合、その情報を一般公開していますか？

図2 Q3著作者(権利者)情報・著作物等情報を 保有して いますか？

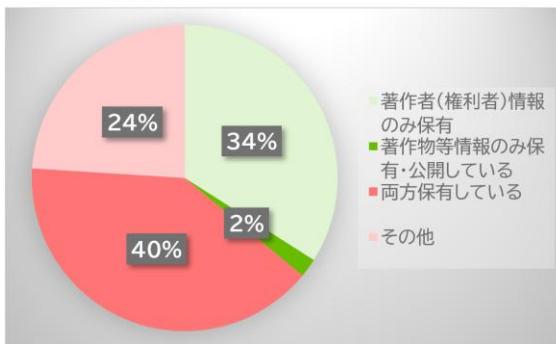


図3 Q4図2で保有している場合、その情報を一般公開していま すか？

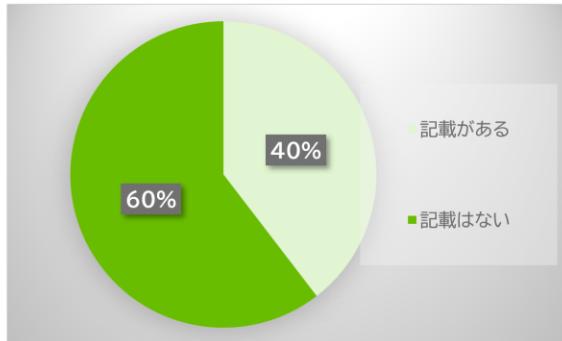


調査結果

合計38団体が著作者(権利者)情報・著作物等情報のいずれかの情報を保有していることが分かった。その内、情報を一般公開しているのは28団体で公開していないのが10団体であるのがわかった。

Q5 現状で、貴団体の所属会員の著作物等の利用の可否について、貴団体のデータベースやウェブサイト上で記載があるか。

図4 Q5現状で、貴団体の所属会員の著作物等の利用の可否について、
貴団体のデータベースやウェブサイト上で記載があるか。



調査結果

合計38団体が著作者(権利者)情報・著作物等情報のいずれかの情報を保有していることが分かった。その内、情報を一般公開しているのは28団体で公開していないのが10団体であるのがわかった。

第6章 おわりに

令和4年度に検討された「分野横断権利情報データベースに関する研究会」報告書において、分野ごとのデータベースの存在を前提とし、それらと連携することにより情報検索が可能となる（メタ検索を行う）システムの在り方が提案された。しかし、その後の令和5年事業及び本事業におけるシステム企画によって、システムの構築コスト、各団体との連携コスト、各分野の権利情報集約化状況等の各種課題が明らかになり、令和8年度運用開始後、継続的にユーザーの意見等を収集し、システムの改善に反映させる余地を残す方向性とし、本システムの各種要件定義を実施した。本システムが構築され、活用されることが本事業の大目的の一つである、著作物の利用の円滑化と権利者への適切な対価還元機会の増加につながると考える。

本事業において取りまとめた要件定義書を基に、今後システムの構築が行われることとなる。但し、その具体的な開発・実現に向けては、連携する関係団体との調整が必要である。継続してこれらの団体の協力を仰ぎながら、本システムの構築作業が進むことを期待する。また、今回の要件定義とそれに基づくシステム構築は、令和8年度春頃の未管理著作物裁判制度の施行に向けた環境整備の一つであり、本事業を通じて、システムの構築に向けて一定程度具体化を図ることができた。今後ともシステム構築に向けて取り組みを進めるとともに本システムの発足後には、利用者アンケートや操作ログ等の情報を蓄積し、分析を行うことで、本システムの改善や機能拡張を検討することが望まれる。制度開始までの時間的制約がある中、関係者協議会の委員の方々、また関係団体の皆様のご協力により本事業を完遂できたことについて、この場を借りて改めて御礼申し上げたい。